



坂下東小学校だより

坂下ひがし

坂下東小学校

令和4年2月28日

No. 20

残りわずかの月々を大切に

いよいよ令和3年度も最後の月に入ろうとしています。登校日もあと16日です。それぞれの学年のまとめに力が入っているところです。

6年生は卒業式に向けての練習が本格的になってきています。大きな声で歌うことはできないのですが、歌の練習や呼びかけの練習に取り組み始めました。卒業制作もできあがり、小学校生活の思い出づくりのために様々な活動を自分たちで計画しているようです。

5年生は、最高学年へ向けて6年生から引継されています。朝のボランティア活動、集団登校など見本となる6年生が卒業する前に学ぶべきことを吸収しようと一生懸命です。また、6年生送る会の準備も着々と進めてきました。1年生から4年生も明日の6年生を送る会の準備をしながら感謝の気持ちを高めています。あいにく、全校生が集まっての6年生送る会はできません。リモートでの会になってしまうのですが、思いのこもったものになるよう準備を進めていました。

また、クラス替えのある学年では、より仲良くなるよう話し合いながらイベントを考えていました。

残された時間はわずかですが、大切に使ってほしいと思います。過ぎた時間は取り戻せません。精一杯のことをして次に向かいたいものです。

小さな親切運動

今年度たくさんの児童が小さな親切運動で表彰されました。団体として、5年2組、5・6年生が賞状を受けとっています。

人の心の中をのぞくのは難しく、その人がどんな心を持っているのかは、その行為でしか判断ができません。その行為を見逃さずに、「ああ、あの人の行いは思いやりがあって親切だなあ」と感じる事ができた子が多くいました。学校目標にもなっている思いやりのある子どもがたくさん本校にはいるということです。

人のよさを多角的に見つけることができるのはすばらしいです。



森林環境学習について

福島県では平成18年度から県民税として「森林環境税」を1人あたり1000円徴収しています。これは、福島県内の森林環境の保全や水源地の確保など、県内の豊かな森林資源を生かすために行われています。学校教育においてもその一翼を担い、子年度は1年生、5年生がその事業に取り組んでいます。

1年生は、秋に自然の家に行って秋の探検をしています。5年生は2学期になってすぐに木工クラフトをしました。そして、つい先日「桐の絵馬」づくりにチャレンジしました。

会津産の桐を使い、そこに一人一人の願いを描き込みました。時期的には少し遅くなってしまったのですが、新型コロナの収束を願ったり、学力向上を願ったりとそれぞれの思いをこめていました。

このような活動をとおして、少しでも一人一人が森林に関心をもち、環境保全への意識が高まるといいです。



3月から厚生労働省からの通知では、新型コロナワクチンの接種が可能となります。市町村ごとに接種の時期や方法が変わりますので、本町からお知らせをお待ちください。新型コロナワクチンの小児接種の対象は、原則、日本国内に住民登録のある5～11歳の方です。(国籍は問いません)

学校では、ワクチン接種に関わっては個人情報なので誰が接種したかどうかなど確認しません。ただし、接種を受ける場合は「出席停止」の扱いとしますので、その連絡だけはいただければと思います。また、副反応等で欠席する場合も学校にお知らせください。こちらでも「出席停止」とします。

『叱る』と『怒る』

似ているようでも、決定的に違うものです。さて、今日、子どもにしたのは、叱ったのでしょうか、それとも怒ったのでしょうか。時々振り返りましょう。

「叱る」＝相手のことを考えたときに出る行動

「怒る」＝自分が思い通りにならないときに噴出する感情

